

《単位互換提供科目詳細》

* 科目 No.

1826

科目概要記入欄

1. 開設大学名	広島修道大学			科目開講 キャンパス	広島修道大学															
2. 科 目 名	正式科目名	法情報論Ⅱ			クラス名															
	副題				配当年次	3・4														
					受入学年	3・4														
	旧科目名																			
	学問分野	番号	26	名称	社会科学系の情報															
	サテライトで開講される科目の科目群			A 群	B 群															
3. 担当教員名	北原 宗律																			
4. 単 位 数	2 単位		5. 開講学期	後期																
6. 開講期間 曜日・時間	2016 年 9 月 19 日 (月) ~ 2017 年 1 月 23 日 (月) 月曜日 13:05 ~ 14:35																			
個別開講日	1 回目 9/19	2 回目 9/26	3 回目 10/3	4 回目 10/10	5 回目 10/17	6 回目 10/24														
	7 回目 10/31	8 回目 11/7	9 回目 11/14	10 回目 11/21	11 回目 11/28	12 回目 12/5														
	13 回目 12/12	14 回目 12/19	15 回目 1/16	16 回目 /	試験日	1/23														
7. 基礎知識の有無	②. 「基礎知識を必要としない科目」																			
8. 募集人数 (総授業定員)	人 (人)		9. 定員超過時の 選考方法																	
10. 科目内容・ 授業計画	<p>概要：法情報論 (Rechtsinformatik) は、データ処理の自動化 (電子的データ処理) に関する法システムの構造と機能の理論である。構造的 (内部的) 局面は、法システムの構成要素内の情報的関係がどのように「自動化」 (コンピュータ化) できるかという問題に関わり、法的情報システムと法的決定のアルゴリズム化の問題を含む。機能的 (外部的) 局面は、データ処理の自動化に関して全体システム (社会的部分システム) へ及ぼす影響の探求に関わり、データ保護法、情報法、情報通信法の問題を含む。日常的に起こる情報事故等にも言及する。「ビッグデータと個人データ」問題も追究。</p> <p>方針：毎回、液晶プロジェクター、オーバー・ヘッド・プロジェクタ (OHP)、コードレスマイク、コンピュータを使用して、法情報論で扱われる具体的な諸問題をトピック的に取り上げ、学生諸君とインタラクティブに授業を進める。授業のための情報機器の使用は認める。</p> <p>学習の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会システムの中で、法律システムの情報化が最も遅れている。その理由を解明すること。 2. 技術と法律の関係を、情報技術と情報社会法の関係から理解すること。 3. 倫理と法律の関係を、情報倫理と情報社会法の関係から理解すること。 4. 情報社会法の特性について理解すること。 <p>授業計画 第 1 回 データ保護の概念</p> <table border="0"> <tr> <td>第 2 回 個人データバンクと個人データの利用</td> <td>第 9 回 中間試験・解答解説</td> </tr> <tr> <td>第 3 回 個人データの保護制度</td> <td>第 10 回 カード犯罪とコンピュータ犯罪</td> </tr> <tr> <td>第 4 回 e-ビジネスにおけるデータ保護</td> <td>第 11 回 不正アクセスとネットワーク犯罪</td> </tr> <tr> <td>第 5 回 e-ビジネスにおける取引データの保護</td> <td>第 12 回 情報犯罪の防止対策</td> </tr> <tr> <td>第 6 回 データ保護受託官制度</td> <td>第 13 回 情報セキュリティの概念</td> </tr> <tr> <td>第 7 回 情報財産制度</td> <td>第 14 回 インターネットセキュリティ</td> </tr> <tr> <td>第 8 回 情報社会における情報財産</td> <td>第 15 回 クラウドと情報セキュリティ</td> </tr> </table>						第 2 回 個人データバンクと個人データの利用	第 9 回 中間試験・解答解説	第 3 回 個人データの保護制度	第 10 回 カード犯罪とコンピュータ犯罪	第 4 回 e-ビジネスにおけるデータ保護	第 11 回 不正アクセスとネットワーク犯罪	第 5 回 e-ビジネスにおける取引データの保護	第 12 回 情報犯罪の防止対策	第 6 回 データ保護受託官制度	第 13 回 情報セキュリティの概念	第 7 回 情報財産制度	第 14 回 インターネットセキュリティ	第 8 回 情報社会における情報財産	第 15 回 クラウドと情報セキュリティ
第 2 回 個人データバンクと個人データの利用	第 9 回 中間試験・解答解説																			
第 3 回 個人データの保護制度	第 10 回 カード犯罪とコンピュータ犯罪																			
第 4 回 e-ビジネスにおけるデータ保護	第 11 回 不正アクセスとネットワーク犯罪																			
第 5 回 e-ビジネスにおける取引データの保護	第 12 回 情報犯罪の防止対策																			
第 6 回 データ保護受託官制度	第 13 回 情報セキュリティの概念																			
第 7 回 情報財産制度	第 14 回 インターネットセキュリティ																			
第 8 回 情報社会における情報財産	第 15 回 クラウドと情報セキュリティ																			
11. 試験・評価方法	中間試験 (30%) と学期末試験成績 (50%) と Web テスト (20%) を併用して評価する。																			
12. 別途負担費用	テキスト：北原宗律『法情報論』ふくろう出版 2009 年 北原宗律『法情報論 PPT』ふくろう出版 2008 年 北原宗律『情報社会法』ふくろう出版 2010 年																			
13. その他特記事項	教室は無線 LAN (WiFi) 使用可能。情報機器の持ち込み可。																			
14. サテライト科目 の社会人受講につい て	科目等履修生 (単位付与) として受け入れ				可	否														
	聴講生 (単位認定不要) として受け入れ				可	否														